

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2026年3月31日
【事業年度】	第13期（自2025年1月1日至2025年12月31日）
【会社名】	monoAI technology株式会社
【英訳名】	monoAI technology Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 本城 嘉太郎
【本店の所在の場所】	兵庫県神戸市中央区三宮町一丁目8番1号 さんプラザ3階34号室
【電話番号】	078-335-6230
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 松岡 壮
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町1番2号
【電話番号】	03-6273-2753
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 松岡 壮
【縦覧に供する場所】	monoAI technology株式会社東京本社 （東京都渋谷区桜丘町1番2号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2026年3月26日に提出いたしました第13期（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）有価証券報告書に添付しております「独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書」及び「独立監査人の監査報告書」の記載事項の一部に原本と異なる記載がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書
インプット法に基づく収益認識における進捗度の見積り
監査上の主要な検討事項の内容及び決定理由
独立監査人の監査報告書
インプット法に基づく収益認識における進捗度の見積り
監査上の主要な検討事項の内容及び決定理由

3【訂正箇所】

訂正箇所は下線で示しています。

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書
インプット法に基づく収益認識における進捗度の見積り
監査上の主要な検討事項の内容及び決定理由
（訂正前）

当連結会計年度の売上高980,881千円のうち、当連結会計年度末においてインプット法に基づき計上した受託開発のソフトウェアに係る売上高は27,620千円である。

メタバースに関する技術や利用方法は進化の途上にあるとともに、のソフトウェアの仕様はプロジェクトごとに顧客の要望にあわせたカスタマイズが必要となるため、

（訂正後）
当連結会計年度の売上高980,881千円のうち、当連結会計年度末においてインプット法に基づき計上した受託開発のソフトウェアに係る売上高は27,620千円である。

メタバースに関する技術や利用方法は進化の途上にあるとともに、ソフトウェアの仕様はプロジェクトごとに顧客の要望にあわせたカスタマイズが必要となるため、

独立監査人の監査報告書
インプット法に基づく収益認識における進捗度の見積り
監査上の主要な検討事項の内容及び決定理由
（訂正前）

メタバースに関する技術や利用方法は進化の途上にあるとともに、のソフトウェアの仕様はプロジェクトごとに顧客の要望にあわせたカスタマイズが必要となるため、

（訂正後）
メタバースに関する技術や利用方法は進化の途上にあるとともに、ソフトウェアの仕様はプロジェクトごとに顧客の要望にあわせたカスタマイズが必要となるため、